

TRICOLOR

港北小校庭改修工事が始まります。

すでにご案内のとおり、11/4 より港北小校庭の改修工事が始まります。

スプリンクラーの設置個所変更に伴い、水道管の位置を変更するなどの工事になり、3 月までかかる予定です。

期間中は土曜日の活動が多くなったり、急に試合に出かけて行ったりなど、皆様には多大なご迷惑をおかけすることになります。クラブ員の皆様には、できるだけ多くの時間をプレーいただけるように努力していきますので、何卒ご理解賜りますようお願いいたします。

なお、各会場ごとに利用上の注意点があります。都度メール等にてお知らせしますので、遵守頂けますようあわせてお願いいたします。

スポーツコミュニティの形成促進事業 採択について

文部科学省の行う表記事業 2 次募集で、本クラブの企画提案書が採択されましたのでお知らせします。事業は 11 月 1 日から始まり、来年 3 月 30 日で終了となります。

(1) 事業名

スポーツコミュニティの形成促進

(2) 事業の趣旨

スポーツを普及・定着させ、スポーツを人々にとって身近なものとするためには、地域スポーツクラブ、学校、地方公共団体、スポーツ団体、企業などが組織の違いを超えて連携することにより、トップスポーツと地域スポーツの垣根をなくし、人材の好循環を生み出すことが必要である。併せて、「新しい公共」という観点においては、地域住民が行政に依存するのではなく、主体的に学校の体育活動も含めた地域

のスポーツ環境の形成を図り、スポーツを通して地域の課題(子育て等)の解決に資する取組を促進することが必要である。

また、小学校においては、学校の小規模化や教員の高齢化等により、体育の授業において児童に手本を見せるのが難しい場合があり、民間人の活用を含めた地域での教育支援体制の強化が必要である。このため、地域住民が主体的に運営するスポーツ活動の場である総合型地域スポーツクラブ(以下「総合型クラブ」という。)等の拠点となる総合型クラブ(拠点クラブ)に配置されたスポーツ人材を活用し、スポーツを通じて新しい公共を担うコミュニティ(スポーツコミュニティ)の形成を促進する。

(3) 事業の内容

① トップアスリート等による巡回指導の実施

申請団体以外の総合型クラブ等が実施するスポーツ教室にトップアスリート及びアシスタントコーチを派遣する巡回指導の実施。

② 地域の課題解決に向けた取組の推進

プロジェクトリーダーの配置を通じて、地域課題(健康増進・体力向上等)の解決に向けたプロジェクトの企画立案と、①及び③の事業を円滑に行うための連絡調整の実施。

③ 小学校体育活動コーディネーターの派遣

小学校の体育活動(体育の授業や体育的活動)の計画を補助したり、担任等とティームティーチングで体育活動に取り組む支援の実施。

(3) 事業の内容のうち、

トップアスリート等による巡回指導の実施 では、高 勝竜(トップアス



リート)・河原昌司(アシスタント)両コーチが篠原中サッカー部へ、館洋介(トップアスリート)・浜野裕樹(アシスタント)両コーチが KAZU サッカークラブへ週 2 回ほど巡回指導に伺います。また、②の事業として、親子サッカーやオープン Papas Dayなどを企画しています。なお、③の小学校体育活動コーディネーターの派遣は、諸機関との調整の結果、今年度は本クラブでは実施いたしません。

数多く生まれてきた総合型地域スポーツクラブの中でも、拠点クラブとして評価されたと思っています。これからも、もっと地域の皆様に貢献できるクラブを目指します。今後ともよろしくお願いいたします。

二木昭コーチの専任スタッフ 離職について

1998 年より長きにわたり、本クラブの専任スタッフとして勤務した二木昭コーチですが、一身上の都合により、10 月末をもちまして離職することとなりました。

それに伴い、11 月以降の担当を次のとおりとさせていただきますのでお知らせいたします。

- 平日(火・木曜日)の小 5・6 の活動担当: 館洋介(たち ようすけ) コーチ(新任) + アシスタントに内田(当面の間)
- ジュニアユースの担当: 河原昌司 コーチ(一人で担当しますが、状況によってアシスタントコーチを採用します)

なお、二木コーチはクラブを完全に離れるわけではなく、Top チームのマネジメントは継続して行いますし、いろいろな形で今後もクラブには関わっていただきます。

二木コーチ、本当に長い間ありがとうございました！

【大変お世話になりました。】

この度、10 月末日をもって、かな

がわクラブ専任スタッフとしての職を離れることになりました。約 13 年にわたり、ジュニアユースや小学生の指導をはじめ、専任スタッフとしてクラブの業務に従事してきました。これまで至らない点多々あったことと思いますが、クラブの子どもたち、保護者の皆さま、Papas や Top チームの皆さま、内田理事長をはじめとするスタッフの皆さま、そして、これまでクラブに関わってくれたすべての皆さまに、支えていただいたお陰でここまで来ることができたと思っています。本当にありがとうございました。今後については、Top チーム担当スタッフとして、引き続きクラブに関わっていくこととなります。また違った形でクラブに貢献できたら良いなと思っていますので、今後ともよろしくお願いいたします。(二木 昭)

新しいスタッフのお知らせ

11 月より、次のとおり新たに 館洋介、浜野 裕樹 両コーチをお迎えすることになりましたのでお知らせします。

■ 館 洋介(たち ようすけ)

- 1985 年生まれ
- 日大高-日大
- かながわクラブ Top(2004 年～2007 年)
- インターライオンズサッカークラブ(オーストラリア・セミプロ契約)(2009 年)
- バンコク クリスティアンカレッジフットボールクラブ(タイ・プロ契約)(2010 年～2011 年)
- フットボール&テニス NAS 二俣川レディースクリニックヘッドコーチ(2004 年～2008 年)
- 在タイ日本人児童へのサッカー教室講師(JFA 夢先生 2011 年)
- 主に平日の小 5・6 を担当してもらいますが、今後他のカテゴリのお手伝い(特に週末など)もお願いする予定です。

■ 浜野 裕樹(はまの ゆうき)

- 1988 年生まれ
- 浜野コーチのご子息で、小 1～ユースまで本クラブ-日体大-ケルン体育大
- 来年 3 月までの間ですが、時間のあく限りお手伝いをお願いします。

皆様、よろしくお願ひいたします。

大会・公式戦結果

Top

【神奈川県社会人サッカーリーグ 1 部 (KSL-1)】

▼ 第 10 節

vs 日本工学院F・マリノス 0-6●

▼ 第 11 節

vs ゴブリン 2-1○

Youth

【県 U-18 リーグ】

vs 逗葉 B 0-3●

vs 磯子 1-3●

【県 CY リーグ】

vs FC 川崎栗の木 1-4●

vs 相模原 FC 0-9●

Junior Youth

【横浜市長旗争奪ジュニアサッカー大会神奈川区予選】

▼ 2 回戦

vs 六角橋中 1-1(PK3-2)○

▼ 準決勝

vs 横浜創英中 2-0○

▼ 決勝

vs 浅野学園中 0-4●

【県 U-13 リーグ】

vs FC COJB 2-4●

vs 南戸塚中 0-8●

vs ヴェルディ相模原 0-6●

vs 岩崎中 1-3●

vs FC E'XITO 0-0△

小 6

【横浜国際チビッツ】

vs フレンド SC	1-0○
vs ヨコハマキッカーズ	1-1△
vs 山田若竹 SC	0-2●

※2 勝 1 敗 2 分(6 チーム中 3 位)

小 5

【大豆戸 FC 招待杯】

vs 大豆戸 FC	1-5●
vs 南百合ヶ丘 SC	0-5●

小 4

【横浜国際チビッツ】

☆S チーム

vs FC カルパ B	2-2△
vs YSCC	0-3●
vs 柏尾 SC	1-1△
vs あざみ野 FC-A	0-2●

※1 勝 3 敗 2 分(7 チーム中 5 位)

☆A チーム

vs 磯子 SC	0-3●
vs FC トータス	0-5●
vs 丸山台 SC	4-0○
vs FC みたけ	0-2●

※1 勝 4 敗 1 分(7 チーム中 6 位)

小 2

【横浜国際チビッツ】

☆S チーム

vs YKFC	0-2●
vs 勝田 SC	2-2△
vs 中沢 SS	1-0○
vs 若葉台 FC	0-2●
vs 瀬谷 FC	0-2●
vs 帷子 SC	0-6●

※1 勝 4 敗 1 分(7 チーム中 6 位)

☆A チーム

vs 菊名 SC	2-0○
vs 鴨志田第一 FC	3-0○

vs 六浦少年 SC	0-0△
vs 並木 SC-A	0-2●

※2 勝 2 敗 2 分(7 チーム中 5 位)

Papas

☆Rec

【県シニアリーグ四十雀 4 部】

vs 大和四十雀	0-1●
vs dfb パフォーマーズ	0-1●
vs YOKOHAMA TFC	4-0○
vs Tsujiko FC	0-3●

☆Comp

【県シニアリーグ四十雀 2 部】

vs 寒川四十雀	0-1●
vs 平塚シニア FC40	1-3●
vs 横須賀シニア 40	0-1●

☆Over40

【マスターズ予選リーグ】

vs オフサイド 40	0-0△
-------------	------

今、グラウンドでは・・・

Top

【県リーグ終了】

トップチームは 10 月に県リーグの残り 2 試合を行いました。

10 月 9 日の日本工学院 F・マリノスとの試合は 0-6 の完敗、これによって 10 月 16 日の最終節対ゴブリンの試合によって、降格の可能性が残ってしまいました。

ゴブリン戦は前半 7 分に樋口の強烈なシュートが決まり、それ以降もボールキープ率やシュートチャンスなどで相手を圧倒していました。しかし、シュートはバーやポストに嫌われ、相手 GK のファインセーブもあり追加点が奪えません。そのまま後半に突入すると、風上にたった相手が優位に攻撃を仕掛けてきました。後半 29 分に相手のコーナーキックが風に流されそのままゴールへ、1-1 の同点とされてしまいました、

同点では入れ替え戦になります。その後最後の力を振り絞って攻撃を仕掛けてますがすでに後半ロスタイムへ、足を痛めた選手に代わり二木が入りファーストタッチはゴール前の競り合いに、二木がボールを落としたところに堀内が走りこみそのままシュート、ロスタイム残り 1 分での決勝ゴールでした。

最終戦を勝った事により結果的には県リーグ 12 チーム中 6 位で終わることができました。今シーズンも皆様の暖かい応援の甲斐があり 1 部リーグ残留することができました、ありがとうございました。県リーグは先月号に書いたように戦国時代です、勝ち点 14 から 16 の間に 7 チームがひしめくと言う混戦でした。これをチャンスと見るか、厳しいと見るかは来シーズンの開幕までの準備にかかってくると思います。

また、県リーグシーズンを終え、引退する選手もいます。特に佐藤正和選手は 13 年間にわたりトップチームで活躍してくれましたが、このたび引退することになりました。かながわクラブにいろいろな形で貢献してくれた選手が引退するのは大変残念ですが、このあとはさらに佐藤選手のようにトップチームを代表するような選手がかながわクラブから出てくることを期待したいと思います。(中本 洋一)

Youth

モチベーションが長続きしません。10 月は、学校の間中試験・修学旅行・文化祭などで、毎回の様に欠席者が多く、まとまったのトレーニングはほとんどできませんでした。

また、しばらくトレーニングから遠ざかっていると、どうしてもモチベーションが下がってしまうようで、すべての行事が終わってもすぐに顔を出すわけでもなく、明らかに意欲が減退しているのがわかります。

トレーニングに来るまでに腰が重くなってしま・・・。

ありがちですが、ここを乗り切らなければ、何のためにサッカーをしているのかわからなくなります。

常に高い目的意識を忘れずに、気持ちをしっかりと切り替えて来てほしいものです。(内田 佳彦)

Junior Youth

【高円宮杯&県 U-15 リーグ】

9月は、2試合の公式戦が行われました。

チームとしての大きな目標であった高円宮杯は、2回戦での敗退となりました。

前半を0-2で折り返した後半、まずは運動量で相手を上回り、先に点を取りたいところでしたが、逆に追加点を奪われ3点のビハインド。それでも選手たちはあきらめず、短時間で立て続けに得点し、一時は1点差まで詰め寄りましたが、その後4点目を奪われ、2-4での終了となりました。

また、県 U-15 リーグ最終戦は、両チーム互いに決定機を決めきれずスコアレスドローに終わりました。

10月の公式戦は、市長旗杯神奈川区予選と県 U-13 リーグが組まれていますので、引き続き、保護者の皆さまの応援よろしく願いいたします。(二木 昭)

小 6

【国際チビッ子終了】

6チーム中3位、予選リーグ敗退。「みんなで『決勝トーナメント進出』という目標を掲げ、その目標が自分たちが進む方向となり、みんなの力が集中して大きなエネルギーが働き、そこに集中すれば必ず結果が出る」。信じて準備をしてきましたが、あっという間に幕は閉じました。

【足りなかったもの】

選手たちはよく頑張りました。個人個人は相手チームにも技術的に劣っているなどと少しも思いません

が、積み上げてきた結果が明らかになるのが試合、ということであれば負けてしまった原因はこの試合当日の内容云々ではなくこれまでに足りないことがあった、ということになります。

今回は選抜ではなくみんなで行くことと決め、ベンチも含めたメンバー全員が意識を持ってチームとして闘うことをコンセプトに臨んだはずでした。しかし、関わるメンバー全員に求められ、免除される者はいないはずのこのコンセプトも残念ながら今回の結果からだけみれば掲げただけ、のものになってしまいました。

この3日間の選手たちのプレーの出来は私が知る「本来のもの」ではありませんでした。自分の心に少しでも迷いや自信の無さを抱えてしまうとそれは面白いようにプレーに現れます。負けられない、負けたくないという思いと公式戦の緊張感が良くない方向に作用してしまった典型例でした。私も選手がそういうマイナスの思いを持たないように奮い立たせる声掛けをしますが、プレーするのは各個人であり「心を整えて」ピッチに出る作業は自分で行わなくてはなりません。が、やはりそれも当日ではなくそれまでの準備に足りないことがあった、ということになるのでしよう。

しかしながら、それ以上に采配への少しの迷いなども含め選手たちの良さを引き出せてあげられなかった私の力不足・目測の誤りこそが大きな敗因であると痛感しています。

【改めて】

何度言ったかわかりませんが、またまた「足下」から始めます。新たな一歩、ではあるものの残念ながら目新しいことではなく、ボールの受け方や止め方・奪い方・視野の持ち方など、個人の力を伸ばすようにバランスを考えながら「地味な」リスタートにならざるを得ませんが、先を見据えれば今は少し我慢が必要な時期、と嫌でも理解してもらいます。

もちろんこればかりでは楽しくありませんのでアレンジはしていきますが。

また、今の自分と今後の自分にとって何が大事か、それを得るためには何をしなければならぬのか、チームにとっても何が大事で、そのために一員である自分が何をしなければならぬのか。一生に一度しかない小6のこの時期にサッカーができることを大事にして欲しい、と伝えていきます。

【応援ありがとうございました】

保護者皆様には遠方までお越しいただきありがとうございました。保護者の皆様をはじめ多くの人々が関わっていること、サポート・後押ししてもらえる事への感謝だけは絶対に忘れないで欲しいと言い続けています。引続きの応援、サポートを切にお願い致します。

(小野 津春)

小 5

すでにご案内のとおり、これからしばらくの間は対外試合に出かけて行く機会が多くなります。試合を行うからにはいつも勝ってほしいと願っていますし、子供たちにも常にその気持ちを持って試合に臨んでもらいたいと思っています。

ご存知のように5年生チームは、4-4-2や4-3-3といったシステムありきの戦い方は目指していません。まずは、しっかりした土台作りをすることが大切であり、攻撃と守備を組織的かつ効率よく機能させるためのチーム戦術やシステムといったものは、もっと後の話だと考えています。

- ① 常にいいボールの持ち方ができる
- ② しっかりボールを観てキックができる
- ③ 両足でボールタッチができる
- ④ 体をぶつけられてもボールを失わない
- ⑤ 個人の力で突破してフィニッシュできる

- ⑥ ファウルをせずに体を上手に使って相手からボールを奪える
- ⑦ ハイボールの目測を誤らず的確にヘディングができる
- ⑧ 攻守においてボール以外のものを意識しながらプレーできる
- ⑨ そして何よりもサッカーが大好きであること

これらのテーマは、いい選手になるために習慣づけをしなければならぬほんの一例にすぎません。今は、チームを勝利に導くことよりも、いい選手になるためのベーシックな部分を積み上げていく時期と捉えており、これからは個のスキルアップに特化したトレーニングを行っていきたいと考えています。(鈴木 章弘)

小 4

【国際チビッ子に向けて～一生懸命に取り組む～】

秋の公式戦が終わり、A チームは1勝4敗1分(7チーム中6位)、S チームは1勝3敗2分(7チーム中5位)という結果になりました。今回も「勝つこと」を第一のテーマとして掲げ、各自が自己の最大限の努力をして、チームの勝利のために「一生懸命に取り組むこと」を目標としました。数字的には、引き分けの試合は勝利するチャンスが大いにありましたので、A チームは2勝、S チームは3勝はできたのではという反省は残ります。まだまだ勝利に徹することができず、子どもたち全員に経験積ませるという育成的な考えが指導者にあったことは認めざるを得ません。そして、選手全員を出場させたために、勝利を逃したという事実も否定はしません。

しかし、子どもたちは概ねチームの勝利のために一生懸命に取り組んでくれたように思われます。誰かに頼るのではなく、自らが積極的に試合に臨むという姿勢は、試合を重ねる毎に強くなってきたようです。観戦にいらした保護者の方々にはお

分かりただけだとは思いますが、子どもたち一人一人が自分のできる範囲のことを最大限に行うということを実践してくれたリーグ戦だったのではないのでしょうか。

【一生懸命の中身を…】

さて、ここで、子どもたちが一生懸命にやったことは評価できるとして、その中身について少し検証を加えてみたいと思います。サッカーを始めた当初の子どもはシュートをする、ゴールを決めることが楽しくてたまりません。必然的に楽しいこと＝シュートをするに一生懸命になります。試合でも自分がシュートをして、ゴールを決めることで満足します。

年代を経るにつれて、徐々に自分一人の満足だけではなく、チームとして勝利することに重きを置くようになります。つまり自分がシュートを決めても、試合に負けては面白くないという感情が芽生えてきます。試合に勝つためにはゴールを決めることが不可欠ですが、それと同じくらい失点をしないことが重要であるということに気づき始めるのです。

そのことに気づいた子どもは、ディフェンスに気を配るようになります。みんなが攻撃に夢中になっているときでも、バランスをとりながら相手の逆襲に備えます。また、キーパーの仕事はほとんど攻撃することではできず、守備も相手のシュートを防ぐといった非常に受身なプレーに限定されます。しかしキーパーがいなければ試合は成立しないので、キーパーを引き受けてくれる子がいなければなりません。守備というのは地味な役割ですから、子どもたちにはあまり好まれません。実は勝つためには大切なことであることは間違いがありません。黙々とこうした地味な役割をこなす仲間がいることを決して忘れてはなりません。

最終的には攻撃したい気持ちをぐっと抑えて、ディフェンスに心を砕く子がいること、チームのために

キーパーを引き受けてくれる子がいることを、他の子ども達も理解して、各自が全力を尽くしてチーム全体で勝利することに喜びを感じるようになるのです。単に「一生懸命に」といっても、好きなことばかりを一生懸命にやるだけでは意味がないことになります。やりたくないこと(嫌なこと)、人がやりたがらないことも含め一生懸命にやるのが大切です。

【責任と信頼】

しかし、全員でゴールキーパーをやる必要は勿論ありません。試合に出場する子どもたちがそれぞれの役割(ポジションの意味)を理解して、最善を尽くすことが求められるのです。ディフェンスが必死に体を張って奪ったボールを大切につないで、責任を持ってゴールに結びつけることがチームとして勝利を収める原動力になります。一人一人がお互いを信頼して任せること、その信頼を裏切らないように責任を持ってプレーをすることができるようになるとチーム力は格段にアップします。

4年生ぐらいでは、自己犠牲の気持ちというよりも体が自然に動いてしまうということが多いと思います。自己を犠牲にしているという意識はそれほど持っていないとは思いますが、しかし、そろそろ、自分の気持ちを抑えてプレーをすることやそういう選手がいることを理解する時期です。そして、誰にでも得手、不得手がありますので、お互いに足りない部分は補い合うことがチームワークであるということも知る時期です。

好き勝手なプレーだけをしていては、チームの誰からも信頼されませんし、一生懸命さ欠けます。自分の気分が良くなるプレーとともに嫌でもやらなければならないプレーも含めて一生懸命にやれたかどうかを、これからは子どもたちに問いたいと思っています。チームの一人一人が責任感のあるプレーをして初めて信頼関係が築けるのですから。

【保護者の皆様に感謝】

最後になります。子どもたちが試合に集中できるように、暖かな応援及び様々なサポートをいただき有難うございました。子どもたちはそれに応えるべく一生懸命にプレーをしてくれたと思います。また、審判や引率のお手伝いをしてくださった保護者の皆様にもお礼を申し上げます。まだまだ勝利に徹する厳しさに欠ける指導者ではありませんが、子どもたち全員に貴重な経験をさせてあげたかった気持ちだけはご理解いただければと思います。

(佐藤 敏明)

小 3

現在、人数の関係上二つに分けての活動をしています。それぞれポイント、練習メニューは違いますが、基本的には技術を磨く、技術を試合で発揮できるようにすることを念頭に以下の点を重点的に指導しております。

- ドリブルでも、パスでも、シュートでも相手の逆を取る考えを持ちながらプレーする。
- 常に手を抜かずにプレーする。ボールを持っていない時もさぼらない。
- 常に自分のプレーしやすい場所にボールをコントロールすることに集中する。
- 常に姿勢を良くし、顔を上げて遠く迄見れる視野を確保する。
- どんな場面でも力まずいい状態でボールを扱えるようにする。
- 技術を発揮する為に、常に平常心でプレーできるよう自信をもってプレーする。
- 選択肢が多い(又は一番良い選択が出来る)体の向きを心がけること。

しかし、週末の練習だけでこれらを習得するのは非常に難しいことです。平日練習や遊びの中で、いかに上記を意識してやってみよう!! と思えるかが重要だと思います。また、暇な時間にボールタッチの精度

を上げる為の地道な練習も必要となります。今まで通り時間があれば、サッカーで遊んで、その中でいろいろなことを試してみてもらえれば技術の向上とともに常に考えながらのプレーが身に付いていくと思います。4年生になる迄の半年間さらに技術に磨きをかけるために、時間の許す限りサッカーをしてほしいと思います。(益子 伸孝)

小 2

【国チビ終了】

A、S2 チームに分かれてエントリーした国チビでしたが 10/30(日)の S チームの試合を最後に全ての試合が終了しました。結果としては A チームは 2 勝 2 敗 2 分(7 チーム中 5 位)、S チームは 1 勝 4 敗 1 分(7 チーム中 6 位)という結果に終わりましたが、結果以上に選手たちはよくがんばりとても収穫の多い大会となりました。初めての公式戦の雰囲気、慣れない会場、初めての相手との一発勝負という状況の中、多くの選手たちはそれぞれ自分なりに良い試合をするためにはどうするべきかを考えて取り組むことができ、たったの 6 試合と思えないほど選手たちは色々な面で成長することができました。ただ、思いとおりにプレーできなかった場面やあまり多くボールを触れなかったという人もいます。また、結果が全てではありませんが、やはり負けたときは悔しかったと思います。試合会場で感じた悔しかった気持ちやもっと上手になりたい、もっと強くなりたいと思った気持ちを忘れずに、また日々の練習に取り組んでいきましょう。

保護者の皆様は連日引率のお手伝いや会場での暖かい声援、選手たちが試合に集中することができるよう様々なご協力をいただきありがとうございました。また毎回審判をご担当いただきました竹内様、柳澤様本当にありがとうございました。

【最近の練習での取り組み】

最近国チビがあり全員が揃って練習をする機会はあまりありませんでしたが、全員揃って練習を行う際には人数の関係上 2 グループに分けて練習することが多くなります。その際に現時点で技術の優れている選手とそうでない選手という基準でのグループわけ何回か行いました。意図としては技術的に優れている選手は上手い選手同士で競い合うことでさらに高いレベルを目指してもらい、そうでない選手は上手い選手に遠慮して消極的にならずにボールを触る回数を増やし積極的に関わられるようにしていくという意図があります。ただ、グループは決定的なものではなく当日の参加人数や体調などを考慮しながら決めております。今後も様子を見ながら場面場面に応じて最適なグループ分けを考慮しながら行っていきたいと考えております。(豊田 泰弘)

幼児・小 1

【負けない気持ち】

1 年生もボールを蹴ることに慣れてきて、サッカーというものがどんなものを練習を通じて理解してきているようにみえます。ただ、自分が思うのは練習の中で「だれだれ君は強いから一緒にチームがいい」とか「相手チームのほうが強いから勝てない」などと、弱気な発言が増えてきてしまっているように感じました。また足が速い子がボールを持つと追いかけていけないであきらめてしまう子もまた増えてきているように感じます。今の段階でそのような気持ちの子が増えてしまうと、チームとしてこれから戦っていくことができなくなってしまうし、その子自身の心が弱くなってしまふと不安で仕方ありません。まだまだこれから成長していったどのような体格になっていくかわかりません。なので、練習や他チームとの試合を通じて人として

強くなってほしいですし、負けない気持ちをもって戦ってほしいと思います。お願いします。(近江 柔)

Papas

【Rec は 4 部 10 位】

10月23日でRecは県リーグ4部最終戦を終えました。リーグとしては2試合が未消化ですが、12戦3勝6敗3分の勝点12で13チーム中暫定10位となりました。今年の12位から二つ上昇しましたし、内容的にももう少し上までいってもおかしくないシーズンでした。「低迷脱出」といいよいかとも思いますが、今期の総括については、次号の監督からの詳細に期待したいと思います。Recは県リーグ議長杯(トーナメント)戦には参加しませんので、これで今期の活動が終了します。選手の皆さん、選手を試合に送り出してください。ご家族の皆さん、お疲れ様でした。ありがとうございました。

来春のリーグ戦開始まで長いオフシーズンに入りますが、Over40の試合もありますし、何といっても、毎週日曜の活動があります。奮って参加していただき、さらには自主トレも含めて、是非来シーズンに向けて怠りなく準備をしていただければと思います。

【Comp 県リーグ 2 部 2 位】

神奈川シニアサッカーリーグ四十

雀(40代の部)2部に参戦しているCompは現在2位であと1試合を残す最終盤を迎えています。10月23日現在で10戦6勝3敗1分の勝点19と好成績を維持しているのですが、2位だった寒川との直接対決に敗れて寒川と順位が入れ替わり、10/23には8位だった平塚に敗れ、勝った平塚が4位に浮上するなど、終盤に入って苦戦を強いられています。Compは10/30の現在最下位の横須賀との対戦を残すのみとなりましたが、Compが1試合残して勝点19であるのに対して、1位の寒川は全試合終了して勝点22、3位のウイットマスターズは1試合残して勝点16と、予断が許されない状況です。

県シニアリーグでも、勝点は、勝ち3点、引き分け1点、負け0点、不戦敗-1点で計算し、勝点、得失点、総得点、総失点、当該チームとの対戦成績、抽選の順で順位を決定します。また、リーグの入れ替えは、各部3チームで、下位2チームと上位2チームは自動入れ替えで下位3位と上位3位は入れ替え戦となります。

入れ替え戦では、引き分けは入れ替えなしですので、ここは何とか自動昇格を狙いたいとことです。ご支援をよろしくお願い申し上げます。

【Papas に参加しませんか】

あなたもPapasに参加しませんか。Papasは毎週の港北小の活動の他に、ご覧のような県リーグ、市大会に参加するなど、「怪我のない壮年サッカーを楽しもう」を合い言葉に、60名近いメンバーがおります。しかも中学高校でサッカーをしていない、サッカー未経験の方が大半です。始めはとまどうかも知れませんが、半年もすればもう立派なPapasメンバーです。まずは体験参加してみませんか。港北小の工事のため、しばし活動場所があちこちになってしまいますので、お出かけの際には、是非事務局に事前に確認の電話をお願いします。(茅野 英一)

ヨーガ

【グナヨーガ】

DVDを発売するにあたり、その題名をどうするか検討してきました。オリジナルのヨーガとして名前をつけたいのですが、それらしい名前はどなたかがすでに使っていて、なかなか良い名前がありません。そこで、考えに考えた結果が・・・「グナヨーガ」です。

「グナ」は私のヨーガ行者名「グナヴェーディカ デヴィ」から取りました。

ヨーガ的には「人間の持つ3つの要素」を指す言葉です。声に出して言ってみると、なかなか可愛い感じ

内田泰嗣税理士事務所
有限会社トップガン (ワン・ストップサービス)

税 理 士 内 田 泰 嗣

横浜市神奈川区入江2-19-11
〒221-0014 大口増田ビル203号

TEL (045) 431-0408

FAX (045) 431-0488

伊藤玲子のヨーガ指導がDVDに！

グナヨーガ
GUNA YOGA



心身ともに健康で、仕事と生活に意欲を取り戻す
身体のためのヨーガから、心身のためのヨーガへ

♪お申込み・お問合せ♪

パソコン・携帯電話から <http://www.iandon.co.jp> にアクセス

です。

というわけで名前が決定！さらに商標登録もすることになりました。申請手続きが終わって登録を待っている状態です。だから、グナヨーガは「TM」が付きます。なんだかかっこいい～！

発売は、当初より遅れて 11 月中旬くらいになりそうですが、すでにご予約を開始しています。お楽しみに～！

(伊藤 玲子)

たわごと 理事長の戯言

【芝生のメンテナンス】

白幡小の中庭(通称ゲンデル)がこの夏に芝生になりました。そして、その維持管理は、先生や生徒だけではなく、地域の皆さんや学校利用団体など、多くの人で行うことになりました。

9 月 23 日には、他の利用団体の皆さんと芝刈り。手押し式の芝刈り機数台で、同じ方向に刈り込みます。一度ではなかなか揃いませんが、何回か行ううちにとってもきれいになりました。

そして、10 月 24 日は冬芝の種まき。新たにクラブを手伝ってくれることになった、舘・浜野(裕樹)両コーチにも手伝ってもらいました。この日は、地域の老人会の方、子ども会の

方、利用団体の方など、総勢 25 名の方が参加。サカタのタネの石川さんの指導のもと、夏芝が元気だと冬芝が育ちにくいとのことで、まずはかなり深く芝を刈り込みます。同時進行で、土を柔らかくして冬芝が育ちやすくするために、大きなフォークのようなもので地面に穴を開けていきます(エアレーションという作業だそうです)。われわれはこちらを担当したのですが、さすがになかなかの重労働。時間もいたため、全体の 3 分の 1 程度を行っただけで次の工程へ。

いよいよ冬芝の種を撒きます。これはさすがに慣れが必要なのと、機械が 1 台しかないの、石川さんがあつという間に行いました。

その次が、肥料の含まれた土を軽くその上に撒きます。一袋 20kg の袋を抱え、ザワザワザワ～とやります。

最後にコートブラシで地ならしをします。こうすることで、撒いた種が、芝の葉の上から落ちて入り込んでいくそうです。3 週間ほどで、冬芝が綺麗に生え揃ってくるのと、今から楽しみです。

こういった作業を通して、日頃はお話することの少ない皆さんと、ワーワー言いながら作業できるのも楽しみのひとつだと思います。同校の佐藤副校長先生がおっしゃっていました。「ここは学校のものではな

く、地域の皆さんのもの。みんなに使ってもらいたい」と。

芝生があるだけで自然と人が集まってくる。素晴らしいなと思いました。(内田 佳彦)

かながわクラブ・クラブ員専用の掲示板です。クラブからの重要なお知らせが記載されますので、まめにチェックしていただけると早く正確に情報が伝わります。

<http://8610.teacup.com/kanagawaclub/bbs>



☆ハンドブックについて☆
携帯で見られるように作成いたしました。下記の URL をクリックしてご覧ください。
クラブの理念や指導方針、各種手続き方法、注意事項、スタッフの紹介など重要な情報満載です。是非ご一読下さい。

http://www.kanagawaclub.com/HB/youji_shougakusei.html



スポーツ大好き人間のお店
横浜アンドウスポーツ

ANDOU

至三ツ沢競技場

保土ヶ谷警察署	国道16号	出光GS
コーナン	保土ヶ谷区役所	
相鉄線星川駅		
いなげや	マクドナルド	至横浜
	サンクス	
交番	メインマート	
アンドウスポーツ	セブンイレブン	
駐車場完備(20台)	保土ヶ谷SPC	
至保土ヶ谷公園 至国道1号		

※相鉄線星川駅下車3分・横浜新道藤塚インターより5分

アンドウスポーツ

〒240-0006 横浜市保土ヶ谷区星川2-6-30
☎045-331-2461

<http://www.sports-nakama.com/as/>

スポーツで日本を元気にしよう！

11月期スクール生募集中！

キッズ(小学生) 平日 15:45～、16:35～ ジュニア(中高生) 平日 17:25～

紫外線100%カット！
開閉式テントリニューアル 100%

ポイント①
学期中なら振替は「何回でも」OK!!

ポイント②
インドアのオムニコート
実践的な4面フルコート

横浜テニスカレッジ・横浜ゴルフアカデミー<白楽校>

〒221-0075 横浜市神奈川区白幡上町9-23
東急東横線白楽駅下車 徒歩3分
TEL 045-433-6622